

## 西洋館撮影利用における感染拡大予防ガイドライン

西洋館の撮影利用にあたり、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、国の指針及び入間市主催事業等の開催における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（以下「入間市感染拡大予防ガイドライン」という。）等を参考に、感染拡大防止及び感染予防対策として、申請者及び利用者を実施していただきたい事項を示したものです。

ご利用にあたっては、大変ご不便をおかけしますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、入間市感染拡大予防ガイドライン及び本ガイドラインを遵守していただきますようお願いいたします。

### 1 基本的な感染症対策の実施

ご自身とスタッフ、他の利用者のために次のことを実施してください。感染防止上、不適切であると認められる場合は利用を中止させていただくことがあります。

#### (1) 施設利用時に必要な予防対策

- ・施設内では、3密（密閉・密集・密接）を徹底的に排除したうえで活動すること。（ただし、障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ・入館の際には手指を消毒すること。（消毒液は利用者で用意）
- ・人と人との距離をできる限り2m（最低1m以上）確保すること。
- ・咳エチケットの励行、手洗いを徹底するとともに、可能な限りマスクを着用すること。
- ・利用人数は、館内全体で50名程度とする。
- ・1時間ごとに1回以上の換気を行うなど、定期的に換気を行うこと。（できる限り2方向の換気を実施）
- ・利用後は、接触部分（テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、清掃用具等）への消毒を実施すること。
- ・会話をする際は、マスクを着用し、近距離や可能な限り真正面を避けること。
- ・感染防止のため、当面の間、館内での水分補給以外の飲食は可能な限り避けること。

#### (2) 体調の確認等

- ・自宅等で事前に検温し、37.5度以上の発熱（または平熱比1度超過）、嗅覚や味覚の異常、息苦しさ（呼吸困難）や強いだるさ、咳やのどの痛みなどの風邪の症状が見られるなど、体調不良の方は利用を控えること。
- ・過去2週間以内に感染が流行している国や地域等へ訪問した事実がある方は、利用を控えること。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われている人がいる方は、利用を控えること。
- ・利用日当日、利用者（代表者）は、スタッフの体調を確認すること。

- ・帰宅後の急な体調不良は速やかに博物館へ報告すること。

## 2 撮影するにあたって特に留意すべきこと

次の記載事項については、感染リスクが存在している可能性があると考えられるため、十分に感染拡大防止対策をとったうえで撮影を行なってください。

- ・近距離や真正面での会話や大声、発声をともなう撮影。
- ・息を吐き出すことの多い撮影。
- ・運動強度の強い撮影。
- ・発声を多く伴う撮影。
- ・利用者同士が接触を伴う撮影。

## 3 その他の注意事項

- ・高齢者や基礎疾患のある方は、感染した場合重症化リスクが高いことから、撮影にあたってより慎重に判断すること。
- ・人と人との距離を2 m（最低1 m以上）確保できない接触感染リスクの高いシーンの撮影や、室内における飛沫リスクの高いシーンの撮影は感染拡大防止対策を十分取ったうえで行うこと。対策を取ることが困難な場合は控えること。
- ・ゴミは必ず持ち帰ること。
- ・利用者（代表者）は、感染者が出た場合に追跡を可能とするための措置として、利用日におけるスタッフ名簿（任意様式）を作成し、連絡先を把握しておくこと。  
なお、スタッフ名簿は、申請者が2週間保管すること（提出は不要）  
※クラスターが発生した際、感染経路を特定するため、必要に応じて保健所等の公的機関へ情報提供する場合があります。

## 4 適用

本ガイドラインについては、令和2年6月11日から適用します。なお、国及び県の対処方針、入間市感染拡大予防ガイドライン等が修正された場合は、その内容を踏まえて適宜見直しを行うものとします。